

教員業績

オヤマダ ケイイチ

氏名 小山田 圭一

職名	助教
専門分野	中世哲学、形而上学、論理学
学位	博士(学術)

学術論文・学会発表等

2007年	A System of Ontology Based on Identity and Partial Ordering as an Adequate Logical Apparatus for Describing Taxonomical Structures of Concepts(共)[藁谷敏晴]<Annals of the Japan Association for Philosophy of Science, 科学基礎論学会>
2011年	述定と名辞の単称性に関する三つの原理に基づく論理的存在論(共)[藁谷敏晴]<『科学基礎論研究』科学基礎論学会>
2014年	神は自らを無に帰することができるか——トマスの体系における絶対的無の可能性(単)<『中世哲学研究(VERITAS)』京大中世哲学研究会>
2015年	トマス・アキナスにおける<現実態における無限の多>について(単)<『中世思想研究』中世哲学会>
2015年	「全能omnipotentia」は何を表示するのか——トマス・アキナスにおける神の能力と被造物との関係(単)<『筑波哲学』筑波大学哲学研究会>
2017年	最高から最深への因果——トマス・アキナスにおける最高原因の能力と働きへの道(単)<『中世思想研究』中世哲学会>
2019年	なぜ一なる存在が多くの存在を発出するのか——トマス・アキナスにおける一多問題の一考察(単)<『中世思想研究』中世哲学会>
2020年	存在の完全性としての能働と一多問題——トマス・アキナスにおける多くのものがあることの根拠としての存在(単)<『中世哲学研究(VERITAS)』京大中世哲学研究会>
2024年	トマス・アキナスにおける存在分割の原理としての本質について(単)<『哲学』日本哲学会>

所属学会等

中世哲学会、京大中世哲学研究会、日本哲学会